

あたらしい明日へ

2014年
新春号

東京労福協

新年のご挨拶



労働者福祉中央協議会
会長 古賀 伸明



東京労働者福祉協議会
会長 遠藤 幸男

東京労福協に加盟する各団体および関係者の皆さま、明けましておめでとうございます。

さて、昨年は、実質的な安倍内閣スタートの年となりましたが、いきなり「アベノミクス」なる経済政策をブチあげ、円高抑制、株価引き上げ、そして、成功のすべての鍵を握るとされる「成長戦略」なる施策を繰り出してきましたが、基本的に国民、労働者、高齢者、障害者、生活保護受給者をはじめ、貧困禍におかれている人々に光を当てたものではなく、大半が経営グループよりの政権運営が鮮明となり、予想されたとはいえ、私たちに与えて、極めて厳しい状況が浮き彫りになりました。さらに、年末では、安倍総理の究極の目的とされる、憲法改正に

新年明けましておめでとうございます。

今年は、2009年に策定した労福協「二〇二〇年ビジョン」の折り返し点にあたります。2012年の国際協同組合年を契機に、中央労福協は労働組合と協同組合との連携強化を呼びかけ、私も「共助を必要とする人たちが共助の仕組みに参加できるようにしよう」と問題提起してきました。

今年は、労働団体と事業団体の連携行動を通じて、協同事業の基盤強化に向けた利用促進と、労働者福祉のウィングの拡大をめざす共助拡大運動の2つを活動の軸と

向けた日本版NSA、特定秘密保護法への異常なまでの強権姿勢、集団的自衛権問題へのアプローチなど日本の平和にかかる問題も含め、私たち労福協の運動がますます重要な度合いを深めています。まさに、今年は中央労福協が二〇〇九年総会で確認した「二〇二〇年ビジョン」、①国民の共感の得られる社会運動と政策提言、②地域に根ざした活動、ライフサポート、③労働者福祉運動の基盤強化、④協同事業の基盤強化、⑤労働者福祉のウィングの拡大、の方針を組織一丸となつて運動展開する年となります。東日本大震災、大島などの被災地支援の活動をはじめ、あらゆる格差・貧困に立ち向かい、「連帯・協同・共生・支え合いの社会」に向け力強く前進しましょう。

し、昨年1年かけて議論してきたことを具體的な形にし、行動に移していく年にしていきたいと思っています。

また、昨年末の生活困窮者自立支援法の成立を受けて、2015年度からの全国での実施に向けて各地域において本来の趣旨にそつた実効ある制度にしていくとともに、格差や貧困のない社会に向けた運動に取り組みます。

引き続き、それぞれの立場からの労福協運動への参画とご支援をお願い申し上げます。

東京労福協にご協力頂いた皆様からも
新年のメッセージが届きました。

ご紹介致しますと共に、
皆様への応援メッセージも
お待ちしております。

新年おめでとう、ございます。

震災・原発・景気平和……。私の関心事は昨年から変わっていません。被災地の復興も原発事故の収束も遅れ、景気回復は不均衡に進み、そして平和を脅かす内外の動きがあります。

でも、いろんな場所でのいろんな形で頑張っている人たちがいます。仲間がいるかぎり希望があります。希望をつなげる今年にしましょう。



ジャーナリスト 二木 啓孝

日本BS放送(BS11) <http://www.bs11.jp/>

昨年一昨年に引き続き、東京労福協傘下のみなさまにはご支援を頂き本当にありがとうございました。

今年から、震災前にもやったことがなかったオーナーのみなさまへの直送を開始しました。

これもひとえに、みなさまのご支援による処理場建設が進んだことによるものですが、官城県漁業協同組合石巻市東部支所では、今後10年間毎年1000万円の処理場ローンが残ります。

さらに、自宅・船・漁具のローンが重なるために、オーナー制度を継続していくことに致しました。

今年も美味しく安全な荒波牡蠣養殖に励みますので、どうかよろしくお願いいたします。



荒波牡蠣復活委員会 会長 石森 裕治

荒波牡蠣復活委員会 で 検索



明けておめでとう、ございます。
昨年末、臨時国会を終えた安倍総理は、会見で殊勝にも「反省」と「今後の丁寧な国会運営」を口にしました。特定秘密保護法の成立に対して国民が怒ったからです。メディアの世論調査で内閣支持率が軒並み10ポイントも下がったのは、実は国会の外側で繰り広げられた各種団体や市民、有識者らの国民運動が伝播したからです。水田町の与野党の政治家たちはいま「与党が圧倒的な数を持つている」「選挙も当分ない」、そんなぬるま湯に浸っている感じがしてなりません。そんなぬるま湯に、国民の意識はまだまだ捨てたものではありません。政治に喝を入れましょう。

ジャーナリスト 鈴木 哲夫

新春のお慶びを申し上げます。

昨年中は、福島県や私たちスバリゾートハワイアンズに対するご支援、ご愛顧、ありがとうございます。

オハナこころひとつに本年も尚一層のご指導とご愛顧の程、お願い申し上げます。



スバリゾートハワイアンズ
ダンシングチームリーダー
モアナ 梨江



「研修・会合の機会に、ぜひお待ちしております」

スバリゾートハワイアンズ で 検索

明けておめでとう、ございます。

昨年は、東京労福協様のご支援のお蔭で、全労済ホール・スペースゼロで東京で4度目となる上演を果たすことができました。ことを厚く御礼申し上げます。

この公演には、傘下の団体様にもご協賛、ご協力を賜り、より多くの方々に被災地の現状を伝えることが出来ました。今年も、群馬、仙台、愛媛など全国各地で上演の予定です。



本年も変わらぬご支援のほど、どうぞ宜しくお願い申し上げます。
復興支援舞台「イシノマキにいた時間」
製作委員会 代表 石倉美佐緒

東北復興支援舞台「イシノマキにいた時間」
<http://www.ishinomakitime.com/>

東京国際労働事情研究会の 海外視察事業

平成25年度は、9月23日から29日（5泊7日）まで13名の団体により、ミャンマーとタイの視察事業を実施しました。

2011年3月の民政移管を契機に民主化が進展していると言われ、国際支援も大きく動き出したミャンマー。安価な労働力の確保や人口6千万人といわれる市場を視野に、多くの国が進出を目論んでいます。が、進出企業に対する国内法の未整備や、電力・道路などのインフラの不足、事実上最低賃金も無く労働時間をはじめ労働法制が無いに等しい状況など多くの課題があります。しかし、仏教徒が9割を占め、勤勉で家族思いのお国柄、経済指標をはじめとする数値だけでは推し量れない豊かさがある国のようです。今後の発展に着目していきたいと感じました。

さらに、現在3千〜5千社ともいわれる日本企業が進出しているタイを訪問しました。2011年の大水による損失で経済成長も落ち込みましたが、現在は回復基調にあり、失業率は0・6%と低位で安定、全国一率300万バーツの最低賃金も実施されました。最近の傾向として、日本の零細企業の進出が相次いでいること、ビザ免除にともない地方の首長が観光誘致のためのトップセールスを行っていることなどを伺いました。視察団の帰国から2カ月後、バンコクでの暴動が大きく報道され、国内政治をどのように安定させるのか見守りたいと思います。



平成26年度東京都への 政策・制度要請

12月17日（火）、東京都庁の会議室において、「平成26年度東京労働者福祉協議会および傘下事業団体の行う福祉事業活動への助成と協力に関する要請」を実施しました。

【東京労福協からの要請】

- 勤労都民のための福祉向上運動への支援、
- 東日本大震災に関する被災者支援や復興支援の見直しと継続、
- 首都直下地震に対する諸施策の強化ならびに防災・減災諸施策の普及啓発、
- 中小企業勤労者の福祉向上、格差貧困社会是正への取り組み強化、
- 多重債務対策および自殺防止対策への取り組み強化、
- 消費者行政の見直しや教育の充実、
- 子育て支援や介護にかかわる支援策、
- 生活保護制度の改善 など

【中央労働金庫東京都本部からの要請】

- 東京都中小企業従業員生活資金融資制度の利用促進・活用に向けた諸施策を要請。

【全労済東京都本部からの要請】

- 都市型水害のさらなる対策、

【東京都生協連からの要請】

- 東京都防災計画を踏まえた首都直下地震等に備えるための対策強化、
- 東日本大震災の被災地と被災者への支援継続、再生可能エネルギーの普及拡大の促進、
- 一般家庭での節電・省エネなどの諸施策推進、
- 少子高齢化に対応し誰もが安心して暮ら続けるための東京のまちづくりの実現

それぞれ東京都各局から回答がありました。

2013年12月9日 東京労福協 第51回定期総会報告



開会挨拶 池谷副会長
議長 連合東京・鈴木総務局長
来賓挨拶 中央労福協・山本副会長
東京都産業労働局・矢田部部長
連合東京・大野会長
閉会挨拶 伊野瀬副会長

12月9日（月）、ホテルラングウッドにおいて、第51回定期総会を開催しました。

池谷副会長の開会挨拶で始まり、議長には連合東京の鈴木総務局長を選出、遠藤会長の挨拶、来賓として中央労福協・山本副会長、東京都産業労働局雇用就業部・矢田部部長、連合東京・大野会長から挨拶をいただき、議事に入りました。2013年度活動報告・会計報告・会計監査報告、2014年度活動方針、2014年度予算、役員改選の4つの議案が満場一致の拍手で承認されました。新任役員の挨拶の後、伊野瀬副会長の閉会挨拶で終了しました。

定期総会後の記念講演は、鈴木哲夫氏による「政治報道のカラーリ―安倍政権誕生の真相&操られた平成選挙史―」。鈴木氏は、フジテレビの報道センターなどを経て2013年6月からフリージャーナリストとして活動、「最後の小沢一郎」等の著作もあり、ラジオ・テレビでも活躍されています。政党幹部の選挙シナリオや安倍首相が若いころのエピソード、ねじれの解消にともなうマスコミ報道のあり方などについて軽妙な口調で語られ、「政治の真実を見極めるのは有権者自身でそのための情報収集は単なる道具」との言葉が印象的でした。大変興味深い内容で参加者は熱心に耳を傾けていました。



2014年度東京労福協役職員名簿

役職名	氏名	所属団体名
会長	遠藤 幸男	連合東京
副会長	大野 博	連合東京
池谷 匠	中央労働金庫東京都本部	
高須 則幸	全労済東京都本部	
伊野瀬 十三	東京都生活協同組合連合会	
須永 謙治	連合東京	
大森 栄司	連合東京	
加藤 貢	連合東京	
加藤 保	中央労働金庫東京都本部	
荻野 里美	全労済東京都本部	
小 侯 要	東京都労働組合連合会	
田村 和彦	中央労働金庫東京都本部	
小松 宏志	全労済東京都本部	
竹内 誠	東京都生活協同組合連合会	
青木 美仁	（公財）東京労働者福祉厚生協会	
野口 三男	（株）勤労者サービスセンター	
岩崎 照明	（財）東京労働者福祉基金協会	
横山 秋	日野市労働者福祉協議会	
宮崎 安基	東京高齢退職者団体連合	
武田 真次	中央労働金庫東京都本部	
神山 民夫	全労済東京都本部	
天 井 修	東京労働者福祉協議会	

五団体セミナー

連合東京・中央労働金庫東京都本部・全労済東京都本部・東京都生協連・東京労福協・中央労金労組・全労済東日本総支部

11月27日(水)、田町交通ビルにて、239人の参加でセミナーを開催しました。第1部は木下徹弁護士による「生活保護基準引き下げに至る経緯とその影響」。2013年8月から生活保護基準が引き下げられたことにともなう経緯と、受給者・非受給者・次世代(子ども)、それぞれへの影響について解説いただきました。第2部は内山誠司法書士による「成年後見制度を踏まえたシニアライフの展望とその備え」。高齢化社会をどう迎えるべきか、定年後の5大リスクに対する危機管理の必要性、その備えとなる安心と信頼のシステム構築、セーフティネットとしての成年後見制度の活用などについて講演いただきました。また、具体的事例として示された成年後見制度の問題点と課題は、事業団体の商品開発へのヒントとなりました。いずれの講演も参加者から大変参考になったと好評を得ました。



労働者福祉東部ブロック協議会 第7期福祉リーダー塾

第7期福祉リーダー塾は、三島市・東レ総合研修センターで前半(6月28～29日)・後半(9月6～7日)、田町交通ビルで修了式(10月18日)を開催しました。今回のカリキュラムは、①労働運動と労働者福祉運動の理念と歴史、②ビジネスユニオニズムからソーシャルユニオニズムへ、③労働組合・労福協とNPOの連帯と協働、④アメリカの新しい労働組織と労働組合、⑤連帯経済の担い手としての協同組合へ、⑥労働金庫運動と全労済運動の基本方向と課題等で、卒業生は20名でした。

「福祉リーダー塾」は、地域と職場で労働者福祉運動の新たな創造を担うリーダーの育成を目指して2006年に開設され、これまでの卒業生は157名、それぞれの学びを各職場で大いに発揮していると期待しています。引き続き開催予定の第8期福祉リーダー塾については、改めてご案内させていただきます。



カローリング大会を開催



10月5日(土)、巣鴨スポーツセンターにおいて、57名(1チーム3名で19チーム)の参加者でカローリング大会を開催しました。カローリングとは、一言で言うと、氷上で行うカーリングの床版。1イニングは1人2投ずつの12投でどちらのチームのローラーが的の中心に近いかでポイントが決まり、これを数イニング繰り返して勝敗を決めるゲーム。参加者はスタート時こそローラーのコントロールに苦労していましたが、次第に狙いを定めて相手のローラーを弾き出すまでに上達。トーナメント戦と敗者復活戦を行い、接戦の末、全労済チームが栄冠を勝ち取りました。大多数の参加者が初めて体験する種目で、主催者側としても運営に多少の不安がありましたが、大いに盛り上がり、次の開催を望む声も聞かれました。

編集後記

巷ではアベノミクスがなぜもてはやされる? 全てを否定するつもりはないがどこかおかしい。消費税も8%暮らしはどうなる。嘆いてばかりもいられない。貧困・格差人々が孤立分断される社会から、子どもたちが大切にされ本当に長寿が喜ばれる社会へと運動の真価が問われている。新しい明日へ、一歩ずつでも歩みを進めたい。なにごとく“うまく”いくが初夢で終わることなく。

R ろうきん

〈中央ろうきん〉は 「あんしん創造バンク」の 実現を目指します

昨今の経済情勢は、アベノミクスによる景気回復への期待が高まっておりますが、その効果は一部の企業・家計への波及にとどまり、多くの勤労者にとっては依然として将来不安を払拭できない状況にあります。

〈中央ろうきん〉では「低利融資の提供」をはじめ「家計見直し提案」や「計画的な貯蓄の提案」「相談会の開催(住宅ローン・資産運用等)」を会員・組合員の皆様の協力を得ながら実施しております。これらの活動を通して、はたらく皆様の生活を守り、より豊かにする福祉金融機関としての役割を發揮するべく、本年も職員一丸となって取組んでまいります。

あんしん
創造バンク
中央ろうきん

茨城・栃木・群馬・埼玉・千葉・東京・神奈川・山梨の店舗でお待ちしております。



ろうきんイメージモデル 高垣 麗子

ZENROSAI NEWS



信頼のこころで築く。
安心を未来につなぐ。

保障のことなら

全労済 東京都本部

全国労働者共済生活協同組合連合会 (東京労働者共済生活協同組合)

全労済は、営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金をお支払いいただいて組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。